

# 下館ロータリークラブ会報

Rotary International District 2820



マーク・ダニエル・マローニー国際RI会長



## 本日のプログラム

外部卓話

萩原亢雄パストガバナー

## 次週のプログラム

夜例会

ロータリー情報 意見交換会

発行日：令和元年9月11日 第02521号



会長／岩崎晴男

副会長／永盛武

幹事／神山芳子

会長エレクト／神山芳子

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)  
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール [shimodate@ri2820.jp](mailto:shimodate@ri2820.jp)

ダブルダイヤモンド筑波



前例会報告 第2890回 2019/9/4(水)

## 会長挨拶 岩崎晴男会長



第2820地区ガバナー補佐エレクトに、永盛武会員の推薦が理事会で承認されました。クラブ会長ノミニーの立候補者は、来週の例会までに文書にて届出願います。届出のない場合は、選考委員会を設置致します。

あっという間に2ヶ月間が過ぎ、会長として様々な会合に出席する機会が増えました。60年の歴史の中にいる実感がしみじみと感じられます。中村ガバナーの言われる「学びて更なる奉仕」の意義も深いものだと思います。神山幹事、宮田副幹事、役員、理事、委員長、副委員長、委員それぞれのメンバーに支えられ、ロータリーの奉仕が可能なのを感じつつ、心を新たにロータリーライフを楽しみたいと思います。

### 心に残る言葉より

今のあなたを作ったのは過去  
将来のあなたを作るのは今です

忘れてならぬものは 恩義  
人と分かち合うものは 友情  
お金で買えぬものは 信用

つきを呼び込む魔法の言葉  
いやなことが起こったら ありがとう  
うれしいとき楽しいときには 感謝します

3やか人生  
心穏やか 体健やか 行いさわやか

土塊商才 渋沢栄一  
人が生きて行くうえで土魂：武士のような崇高な精神；が必要なのは言うまでもないがそれだけでは生活できない 自立するためには商才もまた必要である

## 理事会報告 神山芳子幹事

1. プログラム変更内容11月・12月の承認
2. 国際奉仕委員会 日立 RC  
「この指とまれ」支援金10万円送金
3. 次年度ガバナー補佐選出 永盛 武会員
4. 例会の昼食スタイルのアンケート実施

## 幹事報告 神山芳子幹事



- 中村澄夫ガバナー事務所より
  - ①第15回日韓親善会議9月28日(土)  
開催会場変更のお知らせ ウェスティン仙台
  - ②地区補助金振込み通知 270,000円
  - ③果然便り受理
  - ④バギオ便り受理
  - ⑤ロータリー文庫より決算書受理
- 会報受理 下妻 RC、筑西きぬ RC、下妻 RC、水戸西 RC
- 公益社団法人 茨城県青少年育成協会より賛助金のお礼状受理

## 60周年記念実行委員会よりお知らせ

早瀬浩一 実行委員長

実行委員会の組織が決定しました。後ろのボードに貼り出しておきました。全員が何かの委員会に入っておりますので確認して下さい。

## 奉仕プロジェクト研究会報告

新井和雄 国際奉仕委員長

地区奉仕プロジェクト研究会国際奉仕分科会報告  
と基本的教育と識字率向上月間に因んで

はじめに、当クラブにおいて大変名誉な報告をさせていただきます。8月25日の2820地区



会長・幹事会において、下館ロータリークラブ2018-2019年度の活動に対しロータリー賞(金賞)を受賞したことが発表されました。1年間クラブの活動をリードし「超我の奉仕」を实践された永井会長・潮田幹事に、心より敬意を表したいと思います。



つぎに、2820地区奉仕プロジェクト研究会の国際奉仕分科会について報告します。今年度は日立ロータリークラブと協働で行なうことになった「このゆびとまれプロジェクト」ネパール貧困児童の就学支援について、日立RCの橋本国際奉仕委員長から事業提唱者プレゼンがありました。今年度は、中村ガバナーをはじめ複数のクラブが地区補助金やグローバル補助金、そして「このゆびとまれプロジェクト」を活用して、ネパールでの事業を計画しています。アジアにおいては、多くの国が援助国となった今日、お釈迦様生誕の地ネパールは数少ない被援助国となっており、支援の機運が高まっております。

最後に、基本的教育と識字率向上月間に因んで、下館RCのネパールにおける教育援助の変遷と現在も進行中の防災教育について、人権アプローチと開発アプローチの側面から説明させていただきます。

そもそも教育は、自然災害時であるか否かに関わらず、全ての人間にとって基本的人権であります(世界人権宣言、第26条)。さらに、人権としての教育は「国際人権規約の経済的・社会的及び文化的権利に関する国際規約」や、「子どもの権利条約」に示されており、多くの国により締約されている世界的な約束となっております。そして教育は、災害の影響を受けた子どもたちにとって、とりわけ重要です。なぜならば緊急時の教育は、安全な学習環境を提供することで、人々の尊厳や生命を守るからです。つまり危機的状況下で助けを必要としている子どもや若者

が特定され、支援を受け保護されることで、男子も女子も、児童婚や児童労働、軍隊や武装集団、組織犯罪からの経済的或いは性的な搾取から逃れることができるからです。

さらに、2015年に開催された世界教育フォーラムでは、教育の機会を阻害する重要な要因として、紛争や自然災害が挙げられており、それによって教育や開発が世界規模で中断し続けていることが強調されました。

これらの状況に鑑み、下館RCは昨年の永井年度から防災教育をはじめました。ネパール3292地区の地区補助金を活用し、国際NGOやUNISDRと協働の事業となっております。この事業のために我々が作成した教科書『こどものための仙台防災枠組(ネパール語版)』は、国連防災戦略のwebで公開されており、誰でも無料で使用することができます。そして、この教科書の裏表紙には、「この教科書は国際ロータリーの協力により作られたものです」とロータリーロゴと共に記載されており、広報活動としても一定の効果が期待されます。

## 防災教育DG3292



## 就学を阻害する要因

今世界には、学校に行きたくても行けない子どもたちが約6,000万人います





## 決算報告

潮田 武彦 前幹事

昨年度の決算が出来ました。繰越金が少なくなりましたが、皆さんのメールBOXに入れておきましたので、宜しくお目通し下さい。

## 監査報告

中丸 健 前会計監査



去る7月22日、下館商工会議所に於いて会計監査を行いました。

- 一般会計 予算対比・収支計算書
- 特別会計 スマイルBOX 収支計算書
- ビジター関係書類
- ロータリー財団基金収支計算書
- 米山記念奨学会収支計算書

監査の結果、上記の会計報告が下館ロータリークラブ令和元年6月30日現在の財政状態および、同日に終わる期間の収支状況を適正に表示しているものと認め、ここに報告いたします。

## スマイルBOX

葉 章二 委員長

- ▶岩崎 晴男さん 少し涼しい日になりました。季節の変わり目に気をつけましょう。新井和雄さん、卓話・報告ご苦労様です。
- ▶神山 芳子さん 新井国際奉仕委員長、宜しくお願いします。
- ▶永井 啓一さん 新井委員長、研究会報告宜

しくをお願いします。

- ▶新井 和雄さん 本日は、宜しくお願いします。
- ▶早瀬 浩一さん 新井国際奉仕委員長、卓話宜しくお願いします。
- ▶関谷 徹さん 新井会員の卓話、楽しみです。今月もニューモラルを配布させていただきます。
- ▶加藤 昌美さん 識字率向上の卓話、新井和雄会員の卓話楽しみです。
- ▶小林 一彦さん 新井和雄君の卓話を記念して。宜しくお願い致します。
- ▶中丸 健さん 新井和雄さん、卓話宜しくお願いします。
- ▶百目鬼博行さん 新井和雄さんの卓話を記念して。
- ▶鈴木 健一さん 新井和雄会員、卓話宜しくお願いします。
- ▶潮田 武彦さん 新井和雄会員、卓話宜しくお願いします。楽しみです。
- ▶宮田 憲一さん 新井ガバナーノミニの卓話、本日も勉強させていただきます。
- ▶内山 勝洋さん 新井和雄さん、本日の研究会報告、宜しくお願い致します。
- ▶塚田 砂与さん 奉仕プロジェクト研究会報告、新井和雄ガバナーノミニ、宜しくお願い致します。
- ▶薄井 章一さん 新井さん、卓話宜しくお願い致します。
- ▶葉 章二さん 新井国際奉仕委員長、卓話宜しくお願い致します。

本日の合計 33,000円 累計 182,000円

## 出席報告

塚田 砂与 委員長

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
31	17	9	2	3



## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。